

## 第2回下川町総合計画審議会(福祉・教育部会)会議録

日 時 令和4年9月22日(木)

午後6:45～8:45

場 所 総合福祉センター「ハピネス」

### 《保健福祉課》

出席者(委員): 瀬川聖子部会長、伊藤友美副部会長、麻生 翼委員、

品地和彦委員、渡邊匡子委員、山本大三委員

出席者(町) : 市田尚之課長、大原尚美主幹、古屋いづみ主幹、神野みゆき主幹

### ▽施策項目「保健・健康づくり」

#### 公共施設名「総合福祉センター ハピネス」

委員 : A3の資料を中心に審議を進めたい。最初に昨年度の答申について、その後の状況と対応を伺いたい。事前に資料を読んでいるので、趣旨と要点のみお願いしたい。

町 : 説明

委員 : ハピネスの土曜閉庁などが進んでいないということについて、行革が行われていないと説明があったが、ハピネスだけでなく町全体にも影響が出ていると思うが、行革が行われていない理由は何か。

町 : 理事者もしくは担当の総務課に確認をお願いしたい。

委員 ; ハピネスは料金改定の話と夜間と土曜の閉庁の話があったが、これは両方とも行革での議論が必要なのか。

町 : 保健福祉課としては、両方一緒に考えていきたいと思っている。単発でなく全体像でどうしていくのか考えなくてはいけない。例えばハピネスを閉めるとしたら、代わりにどこの施設を使用してもらうかなど検討が必要なので、施設全体で一緒に考えなくてはいけないと思っている。

## ▽施策項目「地域福祉」

### 公共施設名「共生型住まいの場 ぬく森」

- 委員 : 修繕は終わったのか。
- 町 : 完了した。外壁の反った木の板や出ていた釘など全て直した。同じ色の素材を使ったので違和感なく出来上がった。25～26年は持つ外壁である。
- 委員 : 空き室があるのはニーズが合わなくなってきたのかもしれないとの話があったが、ニーズが合わないとはどのような事か。
- 町 : 入居者は、65歳以上又は障害者で健康であること。要支援、要介護が付くと施設から出なくてはいけない。要支援、要介護を受けている人はあけぼの園などを希望する。健康という条件で入りたいという人が減ってきているのではと感じている。
- 委員 : 障害者でも自分で生活できないとだめか。
- 町 : そうである。今、車いすの方が入っているが、自分で生活ができる人である。
- 委員 : なぜ65歳以上なのか。
- 町 : 高齢者の基準が65歳以上である。
- 委員 : 入られている方が認知症等なった場合は出なくてはいけないのか。
- 町 : 認知症などで要介護等がついた場合、家族と話をして違う施設に移ってもらうことになる。
- 委員 : 収支の関係だが、令和3年度の指定管理料が変更されたのはどのような理由か。
- 町 : 空き室の関係で家賃収入や暖房料などの収入が減ったため、その分を補填とするために指定管理料を少し上げている。
- 委員 : 今後、空き室のままだと指定管理料がこのまま増えるということか。
- 町 : そうなるのかと思う。

## ▽施策項目「子ども・子育て支援」

### 公共施設名「認定こども園 こどものもり」

質問等なし

## 《教育課》

出席者（委員）：瀬川聖子部会長、伊藤友美副部会長、麻生 翼委員、  
品地和彦委員、渡邊匡子委員、山本大三委員

出席者（町）：寺西健二課長、梅坪亮二主幹、松本竜義主査、和田健太郎主任、  
本間莉恵主事、那須野央人事務補

### ▽施策項目「生涯スポーツ」ほか

委員：教育委員会の施設はとても多い。資料の中で要点があればお願いしたい。

町：こちらからは特にない。

委員：では、去年の意見を伝えて、答申を受けて進捗やどのような議論をしてきたか  
ということをお教えしてほしい。

### 「スキー場」

町：スキー場に関して意見を受けていたのは、他の施設に対して管理費が多くなっているということであった。運営効率の改善に努めていただきたいとのことであった。スキー場は圧雪などいろんな作業をしていくということから、費用がかさむというのは致し方ない。また、以前有料の話があったが、代表している会に諮って意見をいただいた。結論からは賛否両論であった。有料にしたほうがいいのかという理由では、他の施設は有料なのにスキー場だけ無料なのはどうか。逆に無料については、無料化にすることで人が集まる、有料化も町外の人には有料なのか、子どもは割引なのか。全般的に有料化した際に人が来なくなる可能性がある。有料化することによって、人員配置があるので、そういったことによってコストアップになる。有料化することによって採算が合うというのは難しい。JRのように100円稼ぐのに1,000円2,000円かかる可能性があるということはどうかと思う。

### 「陶芸センター」

町：陶芸センターについて、利用者を増やすような検討をしたことがあったが、建物自体維持していくというのが危険ではないかということで、団体と情報交換をしている。非常に古い建物なので、これ自体を置いておくと建物の中だけ

ではなく、歩道に面していて落下物で事故が起こる可能性がないとも限らない。今後は団体と協議してどうするか考えている。

### 「ふるさと交流館」など

町 : ふるさと交流館の関係について、後世に伝える業務を評価する。全体的にご説明すると、ふるさと交流館、札天山、旧菱光小学校、の方向性を考えていかなければならない。文化財保護審議会を開いて、旧菱光小学校を見に行った。昨日町長、副町長、議会、教育委員、文化財保護、教育委員会で再度旧菱光小学校を見に行っていた。もともと学校関係で使用している備品、文化財発掘の為の備品、整理されたであろう文化財の関係。中には、寄贈された品物、重複したものや、保存状態が悪くて耐えられないモノ、歴史的価値のないようなモノなどある。まず来年度、学校備品や文化財など関係ないものを処分していこうと考えている。寄贈されているものについても、重複しているものもそれだけ数が必要なのか、寄贈品の道義的な部分も考えている。整理していったら、できれば将来的には旧菱光小学校の土地を国有地へ返していく方向へ持って行ければ。その上で、札天山とふるさと交流館をどのように活用していくか考えていく。こういったところを併せ持つてやるので、時間がかかるものになる。できるところからやっっていこうということを進めていこうと考えている。

### 「多目的宿泊交流施設」

委員 : アイキャンハウスについて、不便なところが多数あるため、入居している中高生から聞いてみてはどうかということがあった。

町 : 中高生から直接ヒアリングできていない。私自身足を運び、施設的に老朽化して変えていかなければならないところを順次やって行きたいと考えている。今年度は大規模工事をやっている。間接的ではあったが、特に女子入寮生の声で、蛇口が2口でお湯と水、混合栓にして欲しい。朝シャンを洗面のところでやりたいということでやった。エアコンも調理室に付けたり、ストーブも壊れているので、議会の補正で入れ替える（一部）。トイレやお風呂場も修繕している。少しは期待に添えていると考えている。

委員 : 不具合があった場合、指定管理者が直していただきとなるのか。

町 : 大がかりになると指定管理ではできない。その場合は教育委員会に相談してくる。教育委員の手持ちの予算は限られているので、無理であれば補正予算などで対応することになる。

委員 : 二つの水道のうち一つが壊れていた。指定業者が言ってこないと直らないという状況か。

町 : 教育委員会が現場を常に見ているわけではないので、指定管理者から言ってもらわないとわからない。たまに行って、直そうということになることもある。

委員 : そうなると、中高校生へヒアリングが必要。

町 : そこが難しいところで、指定管理者が親代わりということもあるので、指定管理を信用していないという話になることもある。

委員 : 指定管理者頼みだとそういうことがあるのか。

町 : そういったことがあれば、指定管理から担当に言ってもらっているのかなと思っている。

### 「スキー場」

委員 : スキー場、風連のスキー場のシステムがシンプルで、人件費とかかかかっていないと思う。参考になるかなと思う。ただ、これまでは無料だっただけに風連ぐらいの料金だったら行く回数が減るかなと考えられる。料金設定は置いておいて、システムとしてはシンプルで導入しやすいのではないか。

町 : コストアップ、利用者数の低下、スキージャンプが練習している子からもお金を取るかなど。風連のシステムを勉強することになるが、それをどれだけ許容できるのかどうか、コストアップになるかどうかがある。単純に話を進めることができない。

委員 : ロッジにいる人がずっとそこにいる人であれば、人員を増やさなくてもできる。発行する人とロープリフトの下で確認する人がいたらできる。プールだとしめかわっこの子どもたちは無料で使用しているが、それを少年団に当てはめることはできないのか。

町 : そこは考えようだが、ここで議論するのは難しい。年末年始以外はずっと開けているので、お金を収受ということになるので、人がいるのでその人にやらせれば良いというだけの問題なのか、お金の収受になるとお金の管理が発生し、

複数人配置する必要があるとすれば、単純に交代制勤務となるためその為の人数が必要になってくる。果たしてそれだけの人数の確保ができるかどうか。有料にする、人を募集します、人が来ません、そうしたら有料化もできませんという事にできるのか。人を募集して人が集まって有料化できるのであれば良いが、人の確保ということが下川で難しいということがある。もし人が今以上に必要であればという仮定だが、ここで議論をしても難しいと思う。

### 「学校給食共同調理場」

委員 : 学校給食のことで、おいしい安全な給食を提供していただいて感謝。町の中で、赤水や濁った水が出るときがあるが、共同調理場としては対応のマニュアルがあるか。

町 : マニュアルについては承知していない。赤水が出た場合に情報収集をする。見た目だけで判断できない場合があるので、出た場合は浄水場で水を汲みに行ってその水で調理をしている。

委員 : ミネラルウォーターを確保していく必要があるのではないか。

町 : 調理場ではかなりの水量が必要。浄水場へ行きトラックで一気に取りに行ったりやる方が効率的。

委員 : ある日突然だと、水質調査とか建水で時間を取らないのかなと思っている。

町 : 調理をする時間が限られているので、水が出てきているのは連携してわかっている。建設水道の人員を借りて一緒に行ったりしている。共同調理場だけか、子ども園かとかそこからも要請を来ることがあるので、さばきながらやっている。

### 「施設の統廃合」

委員 : 教育委員会の施設が多くあるが、統廃合や廃止については、去年の段階でそういった議論がなされていれば教えて欲しい。

町 : 人口が減る中で、施設が必要なのかは将来的な問題。用途も様々ということもあるので、一概には言えないが、小学校や中学校の子供の数が減る中で、現在の規模の小中学校が必要になるのか、小中一貫の話があるのではないかな。いろんなケースがある。一人の校長で、教頭が二人の小中一体の学校。学校と

学校は別々で隣り合わせに学校がありそれぞれ校長と教頭がいるなど。教育委員会の委員の中にも一本化して学校施設を廃止するのかという関心を持っているが、来月比布町と旭川市に視察に行って、教育委員さんに見識を広げていただき、議論をして行きたいと考えている。新しく学校を作らなければいけないか、これまでの学校で対応できるのかという話。

陶芸センターは先ほどの通り、除却していくことになる。限られた人員でやっているのですが、すぐできるということはないので、できるところから順々にやっていく。

委員 : 教育委員会で管轄している施設は行革の対象になるか。

町 : 使用料は対象になる。総合グラウンドとか庁舎を作るのか別用途にするのか、など行革の中で判断するのかということもある。高いところで議論していただかないと進まない。

委員 : 公共施設のマネジメントどうしていくのか、というのを考える中で、行革の会議が開かれて議論していかないと前に進まないということか。

町 : できるところとできないところがある。ここまでは教育委員会でできるというところは町長、副町長には申し入れている。行革で決めるところはそれにより受け入れるか意見を述べていくかになると思う。

委員 : 今のところは、気になっているところだったので答えていただいて感謝。いじめに関するアンケートをやっているとあったが、公共施設の関係で、そこで働いている人もたくさんいるが、働いている人のハラスメントの調査。たくさんの人を扱っているのですこのところはどうか。

町 : 総務の方で人員を管轄しているので、教育委員会で改めて調査をやっていない。

委員 : 職場の環境で問題と覚えることがあれば、総務課でということか。

町 : 第一義的には課長にいくというシステムにはなっていない。

委員 : では、総務課というのは。

町 : 相談窓口になっている。教育委員会に相談しなければならないということではない。総務課の窓口に行くのもあり、教育委員会に行くのもあり。

委員 : 子どもの場合は相談する団体などがあるが、大人のそういったものはあるか。

町 : 総務の方でそういったマニュアルを作っていると思う。

### 「万里長城のトイレ」

- 委員 : パークゴルフ場のトイレがある、管理棟の他にトイレはあるか。
- 町 : 万里長城には3か所ある。さわやかトイレは建設水道の管轄で、管理棟、パークゴルフ場のトイレが77番に含まれる。
- 委員 : パークゴルフ専用のトイレということか。
- 町 : パークゴルフ場専用トイレということではない。野球場使用者からすると、管理棟が近い。その為山村広場のトイレを廃止した。
- 委員 : 3か所のうち1か所が廃止しているという事か。
- 町 : もともと4か所あって、現在は3か所ある。
- 委員 : 山村広場のトイレを廃止した代わりに別のトイレも使えるようになっているという認識でよいか。
- 町 : パークゴルフ専用という事ではない。

### 「施設の利用者数」

- 委員 : 利用者数とあるが、男女大人子どもは関係ないのか。
- 町 : そのとおり。
- 委員 : 利用者数の確認は教育委員会で帳簿の確認をしているか。
- 町 : 指定管理者で人数把握しており、こちらに報告してもらっている。
- 委員 : 必要な情報は男・女、大人・子ども関係ないか。
- 町 : 出してくるところによっては、年齢や男女別の場合もあるが、公表するときまとめたの数字を出すこともある。
- 委員 : 男女で分ける必要はあるか。柔道の利用で書くので、男女や大人子どもで分ける必要があるのか疑問。
- 町 : どういった利用者が多いのか把握するため、必要。

### 「札天山の廃止」

- 委員 : 郷土資料の関係、旧菱光小学校はいずれ廃止の方向でということだが、一の橋は将来的には廃止の方向か。
- 町 : 現時点では、札天山、ふるさと交流館については、考えていない。まずは旧菱光小学校どうしていくか。収蔵品の関係もあるので、収蔵物を保管する場所が



ない。一定の保管する場所がない。先人たちの大事な歴史があるので、考えていきたい。

委員 : 管理は休館にするという話があったが、募集しても人が集まらないのが現状。将来的には、管理人を見つけてという考えは持っているか。

町 : 学芸員が退職されて、管理をどうするか、来館者対応、収蔵物の整理などは頭の痛いところ。その募集といっても、それを扱っていただける方がいない。職員として採用してというのは理事者の考えもあるので、教育委員会としては難しいと考えている。募集をして確保したいと考えている。

### 「コーディネーター募集」

委員 : コーディネーターの募集をしている、町でいろいろ取り組みをしている。地域共育をやっているので、まとまった情報発信ができればいいなと思っている。コーディネーター募集は業務として募集に見えてしまっていて、顔の見える読み物などライターが書いているものがあったら変わると思う。すごく大切だと思うので、森の生活で取材してもらって、町の HP に掲載してもらったらどうか。財源の問題というのもある。

町 : コーディネーターは募集をしており、数件応募があったのは事実。こちらが求めている人材は確保できていない。教育委員会の内部で発信の仕方を変えていったらよいのではないかという議論があり、見える化をどうしようかというところ。募集の仕方ではなく、発信の仕方を変えなければならないという議論をしていた。今後どうしていくかという議論していたため、意見としていただく。

委員 : タウンプロモーションのページなど良いと思っていた。地域共育は移住定住に結び付く、発信の仕方は枠組みを超えた発信を含めて一緒にできたらいいなと思っていた。

町 : 議論をしていて、素人が書くより、プロのライターに書いていただいたほうが人を呼びよせるような内容がある。そこの投資を惜しんではどうかという議論をしている。だれに頼むかというところがある。